

個人質問

全質問項目 ◇保育環境について



Q 保育環境について3点伺う。
①平成30年度の保育提供数に対して、121人分不足している。待機児童解消に向けた今後の対策は
②届出保育施設の存続のために早急な補助が必要と考えるが市の見解は
③企業主導型保育園は所管が内閣府であるため、保育状況の把握が必要と考えるが市の体制は

A 部長 ①平成31年度に見直しを行う子ども・子育て支援事業計画の中で、待機児童の解消に努めていきたいと思います。
②本市では、認可保育所の定員増加に向けた取組みを最優先課題としており、届出保育所への補助については、現在のところ困難であると考えています。
③企業主導型保育園の指導監査は、公益財団法人児童育成協会が実施していますが、これとは別に福岡県が立ち入り調査を行う際に市も立ち会うこととしています。



こうたけ 綾 議員

問 保育施設への積極的な支援策を

全質問項目 ◇水道事業について ◇市長の執行姿勢について



Q 水道事業会計における有価証券等での資金運用について、現在の運用状況と、運用益を市民に還元する具体的な取組みについて、市の見解を伺う。

A 部長 運用益については、長引くマイナス金利政策の影響で利息収入は年々減少しており、本格的に債券運用を開始する平成30年度は、160万円程の利息収入を見込んでいます。
今後は、低金利時代とはいえ少しでも資金運用による利息収入の増加を図り、水道料金収入以外に収入を確保することに、先ずは利用者の負担増とならないよう努めてまいりたいと考えています。



ふじい 雅之 議員

問 水道事業の資金運用益の還元はあるか

全質問項目 ◇教育行政について

Q 教育行政に関して3点伺う。
①子供の主権者教育として、議場で「こども会議」を開催することについて
②2学期制の検証と、新学習指導要領への対応について
③教職員の長時間労働と、多忙化に対する働き方改革について

A 市長 ①施政方針で提案した「学生未来会議」も、次代を担う若い世代に、まちづくりへの参画意識をいち早く高めてもらうことが目的です。ご提案の「こども会議」については、議会と相談しながら、ぜひ実行したいと考えています。
②授業時数の確保や評価のあり方、学校生活におけるゆとりの面から、効果と課題を整理しました。また、新学習指導要領への対応については、新たに導入される内容に絞って調査研究や学校支援を行い、各学校が円滑に移行できるよう努めています。
③ワークライフ・バランスの確立を図ることを目的に、学校における働き方改革を本年度から本格的に実施いたします。



おばたま ゆみ 議員

問 主権者教育と学校教育改革は進んでいるか

問 人 質



問 各種「避難所」を使い分け
て避難すればよいのか

原田久美子 議員

Q 日頃から防災
・減災意識を高

めてゆくためにも、災害
時の避難の仕方を理解し
ておくことは大切であ

る。ハザードマップには
「指定緊急避難場所」、「指
定避難所」、「協定避難
所」、「緊急一時待機施設」
などが示されています。
どのように避難すること
になるのか。また、観光
客はどう避難することに
なるのか伺う。

A 部長 「緊急一
時待機施設」は、

あくまで集合場所、状
況をみて避難所等に速や
かに移動します。

「指定緊急避難場所」
は身の安全を守るための
施設ですが、家屋等に被
害を受けた場合は「指定
避難所」で一定期間生活
することになります。

「協定避難所」は避難
所として市民が利用でき
るように協定を結んだ民
間施設です。

観光客の誘導は、場
所、経路、言語など各関
係機関の連携が必須です
から、今後も協力関係を
深めていきたいと考えて
います。

全質問項目
◇減災対策について
◇道路整備について



問 今求められる
職員像とは

木村 彰人 議員

Q 更なる職員育
成の必要性から、

市長が施政方針の中で表
明した人材育成基本方針
の改訂に関して3点伺う。

①既存方針の成果と改善
すべき課題について
②これからの太宰府市に
求められる職員像について
③プロジェクトなどの創
造的業務を通じた実践的
OJTによる効果的な人
材育成について

A 部長 ①基本方
針である『しな

やかな職員像を職員全
体で共有したこと、職員
としての行動要件、姿勢
を職場での確認基準とし
たこと、職員が自ら計画
するしなやか研修制度の
立ち上げなどの成果があ
りました。各階級に求め
られる、社会情勢、少子・
高齢化に対応した職員像
を描いていきます。
市長 ②公に尽くすこと
を自らの喜びとし、市民
の声、時代の要請にアン
テナを高くして専門性、
広い視野、柔軟な判断力
を併せ持つような職員を
念頭においています。
③若手職員の研究グルー
プによる政策提案や、課
題対応のための横断的な
会議や取り組みを実施し
ています。

全質問項目
◇職員の人材育成
について
◇道路事業の進め
方について



問 公共施設の監理状
況を確認する

門田 直樹 議員

Q 指定管理者に
よる公共施設の

点検・管理に関して、2
点伺う。

①指定管理者からの報告
に対するチェック状況に
ついて
②直営管理の施設におけ
る、点検業務のための専
門職員の配置と法令遵守
について

A 総務部理事 ①
指定管理者が各

種点検について専門業者
と業務委託契約を締結
し、その中で選任された
技術者が点検・報告書の
取りまとめを行います。

報告書で何らかの異常が
認められる場合は、施設
所管課で修繕や部品交換
などを行っています。

②委託業者の仕様書の中
で、関係法令に基づく報
告書の作成が定められて
います。提出された報告
書は、各施設所管課の担
当者が確認を行い、適正
な業務履行の確保に努め
ています。



全質問項目
◇市の公共施設の監理状況について

問 質 人 個



船越 隆之
ふなこし たかゆき
議員

問 今後の地域福祉のあり方は

Q 「民間の知恵を生かした高齢者福祉」に関して2点伺う。

①「介護予防・生きがい活動支援事業」「老人クラブ関係事業」「老人憩いの場整備事業」についての具体的な内容

②平成15年に市が運営する障がい児施設が民間事業者へ移譲されたが、それ以降の障がい者支援のあり方はどう変わったか

対して財政支援を行っています。「老人クラブ関係事業」は、高齢者の生きがいや健康づくりを目的に、長寿クラブ連合会等の活動に財政支援を行っています。

「老人憩いの場整備事業」は、高齢者の集いの場を自治会が整備する経費を助成しています。

②療育内容の充実を図るため、平成15年に民間事業者に移譲され、現在は児童発達支援センターとして、障がいのある子どもへの支援にご尽力いただいています。

A 部長 ①「介護予防・生きがい活動支援事業」は、介護予防体操やサロン活動に

全質問項目
◇施政方針について



柳原 荘一郎
やなぎさわ ほうそういちろう
議員

問 豪雨対策は万全か

Q ハザードマップによると、水

城區および吉松区には浸水想定範囲が広く分布している。豪雨災害対策に関して3点伺う。

①御笠川の未改修部分の状況と、今後の対策について

②御笠川の水位観測体制について

③アンダーパス(地下道)における対策状況について



A 部長 ①豪雨災害に備えた御笠川の改修事業は、福岡県により計画的に実施されており、今後とも流域自治体でつくる事業促進協議会を通じて整備要望を行います。

②福岡県河川防災情報や市が設置している監視カメラによる情報とともに、職員の巡回により現場確認を行います。

③6カ所は、排水ポンプを設置して冠水を防ぐとともに、警告回転灯や冠水注意の看板により冠水時の注意喚起を行います。1カ所については、冠水注意の看板及び監視カメラによる確認のみであり、排水ポンプの設置に向けて関係機関との協議を行っている状況です。

全質問項目
◇豪雨災害対策について
◇教育施設の整備について



入江 寿
いりえ ひさし
議員

問 地域包括支援センターの目的・役割とは

Q 地域包括支援センターに関して4点伺う。

①業務内容等が市民に理解、周知されているか

②運営体制及び業務の取り組みについて

③検証、評価と次年度の取り組みについて

④設置に関する条例制定について

A 部長 ①一般高齢者の認知度は48・5%でした。今年度5月1日号の広報「だざいふ」に特集記事を掲載しました。

②いきいき情報センターに設置され本市の地域包括支援センターの運営形態は、市の直営方式です。

③各種の評価指標の達成状況について、地域包括支援センター運営協議会により検証を行っています。

④条例制定は必要ないとされていますが、支所を設置するにあたり必要な例規の整備は行っています。



全質問項目
◇地域包括支援センターについて

個人質問

全質問項目

- ◇市職員の市民による評価導入について
- ◇市民提案事業支援制度の導入について
- ◇中学校給食実現のための資金計画について



Q 市民からの評価を基本とする外部評価を、職員の人材育成に生かすことができないものか、市の見解を伺う。



問 市民による職員評価の導入

問

市民による職員評価の導入

A

部長 市民から直接ご意見をいただく方法は、電話や窓口での対応や、市民の意見箱やホームページからのメール、市民意識調査

などがあり、市民の声を多く集めることにより職員に対する評価が見えてくるものと考えます。今年度人材育成基本方針の改訂にあたり、その過程における策定委員会の協議の中で議員の提案も参考にさせていただきながら検討したいと考えています。

行政視察報告

総務文教常任委員会

日程：平成30年5月9日（水）～5月11日（金）

●あさひAEDサポート事業におけるAEDの有効活用について

愛知県尾張旭市

AEDの24時間利活用を可能とし救命率向上を図るため、市内すべてのコンビニエンスストアにAEDを設置した取り組みについて視察しました。

●図書館運営事業「元気配達便」について / 愛知県田原市

図書館への来館が困難な高齢者や障がい者を対象とした図書の配達、貸出サービスを通して、市民の心と体の健康を保つ取り組みについて視察しました。

●市立の小学校と特別支援学校の併設整備と運営について

愛知県刈谷市

肢体不自由児の長時間通学を、既設市立小学校との併設整備により早期解消すると共に医療機関との支援体制の構築などにより理想的に整備された教育環境を視察しました。



環境厚生常任委員会

日程：平成30年5月17日（木）～5月18日（金）

●呉市国民健康保険事業の医療費適正化の取り組みについて

広島県呉市

いち早くレセプトのデータベース化に取り組み、データに基づく保健事業により着実に効果を上げてきた先進自治体である。レセプトデータベースの導入の経緯や効果の内容について視察しました。

●「おのみち幸齢プロジェクト」の取り組みについて

広島県尾道市

高齢者が住み慣れた地域でいきいきと安心して暮らせるよう13にわたる事業が展開されており、それぞれの事業内容について視察しました。



所管調査報告

建設経済常任委員会

日程：平成30年5月7日（月）

●太宰府市の下水処理に関する地域共同施設運用について

毎年数億円規模の負担金を拠出している、御笠川浄化センターの運用状況を現地視察しました。

